



情報の選び方

パンフレットを作って、「おすすめの
本」を友達にしょうかいしよう。

■ パンフレットはどのような書き方をしているのでしょうか？

- 大きな文字と目につきやすい言葉で、伝えたいことを短い文章で書いたものを「見出し」と言います。
- 見出しにぴったりの「絵・イラスト・写真」があると、読む人がイメージをえがきやすいです。
- 「文章」は、読む人がわかりやすいように、組み立てを考えて書かれています。

読書月間中は、本をたくさん読みました。その中には、友達に読んでほしい「おすすめの本」がありました。

本のしょうかいをしたいのですが、「おもしろいですから読んでください。」では、友達に何がおもしろいのが伝わりません。伝えるためには、おもしろさの「なかみ」を説明する必要があります。どのように、おもしろさの「なかみ」を調べ、伝えたいことを選んだらいいのでしょうか。

わたしたちのグループで決めたこと

■ だれに

図書館に来る人全員

■ 何を

「注文の多い料理店」の作者、宮澤賢治のふしぎさについて伝えたい。



伝えたいことがたくさんあるね

1 だれに何を伝えるのかを考える

友達に何かを伝える時、「だれに」「何を」伝えるのかをはっきりすることが大切です。

調べることを決める わたしたちのグループは「注文の多い料理店」のふしぎさを伝えたいという人が集まりました。どこがふしぎだったのかを話し合いました。

☆森の中にとつぜんレストランが出てくるところ

☆お店の人がいないところ

☆気がついたらお店がなくなっているところ

など、たくさんの意見がありました。そこで、作者の宮澤賢治の「ふしぎさ」についてもっと調べてみたくなりました。

伝える相手を決める 全校のみんなに見てもらいたいので、「図書館にパンフレットを掲示してもらおう」ということで意見がまとまりました。

■ 伝えたいこと

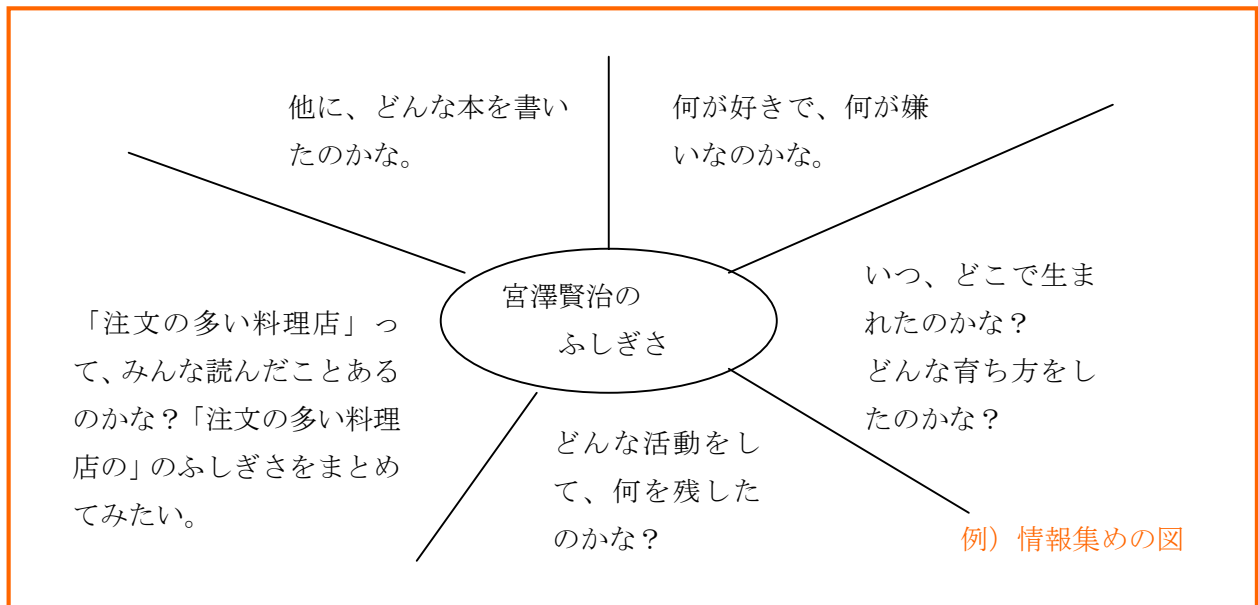


- 自分が伝えたいことをまとめてから、グループで話し合いましょう。

■ 伝える相手

- だれに伝えるかで、集める情報が変わってきます。また、伝え方も変わってきます。
- だれに伝えたいからどこに掲示するのがいいか考えておきましょう。





2 情報を集める

■情報の集め方

- 「事実」→本、インターネット、子供新聞などから集めます。
- 「みんなの考え」→インタビュー、アンケートなどから集めます。
- 「体験」→自分が読んで楽しかったことを整理します。

■インタビューのときは

- 事前に、原こうを作ってから、友達にインタビューしましょう。
- インタビューしたことは、しっかりメモをとりましょう。

情報を集めるといっても、すぐにはとりかかれませんが、どうやって集めたらいいのでしょうか。

調べるための情報を集める 宮澤賢治について調べるといっても、宮澤賢治のどんなことを調べたらいいのかが、わかりません。そういうときは、上の図のように、宮澤賢治について、知りたいことや知っていることを整理してみましよう。

情報を集めに出かける 本やインターネットで調べることのほかに、インタビューやアンケートをとって、友だちの意見を集めるのも、ひとつの方法です。

項目（こうもく）	調べた内容
いつどこで生まれたのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県生まれ ・ 1896 年生まれ
どんな育ち方をしたのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家は質店で裕福 ・ おとなしく一人遊びが好き
好きことは何かな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石を観察することが好き ・ みんなが「石こ賢さん」とよんだ
どんな活動をしたのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農学校の先生になる ・ 羅須地人協会をつくり、農民のために農業技術を教えたり、芸術の話をしたりした ・ 石灰肥料会社の経営者になる
他にどんな本を書いたのかな	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんぐりとやまねこ ・ セロ弾きのゴーシュ ・ 銀河鉄道の夜
クラスみんなが好きな宮沢賢治の本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注文の多い料理店 ・ どんぐりとやまねこ

例) 情報整理のための表

3 情報を整理して選ぶ

みんなで取材をして、たくさんの情報を集めました。伝えようとする「内容」「相手」によって、必要な情報は変わってきます。

集めた情報を整理する 集めた情報を表にして整理すると、「どの情報が必要か、どの情報はいらぬか」について、みんなで考えるときに役立ちます。

整理の仕方は、表にする以外に、付箋紙に書いてからなかまごと集めたりカードに書いてからなかまごとにわけたりする方法もあります。

■ 情報の整理の仕方

- 項目（こうもく）ごとに、表にまとめる。
- カードに書いてから、なかまごとに集める。
- 付せん紙に書いてから、なかまごとにまとめる。
- ワークシートに書いてから、なかまごとに集める。





「内容」と「相手」だね。

■ 私たちは、宮澤賢治のふしぎさをつたえるために、次のことを選びました。

- 宮澤賢治の小さいころのようす
 - ・ ひとり遊びが好き
 - ・ 石集めが好き
- 宮澤賢治の夢
 - ・ 人間も動物も植物も互いに心が通い合うような世界
- 宮澤賢治のふしぎなお話のしょうかい
 - ・ セロ弾きのゴーシュ
 - ・ 注文の多い料理店

必要な情報を選ぶ

■ 情報を選ぶときに

- 「何を」「だれに」伝えたいかを考え、まとめた表などから必要な情報を選びましょう。
- 書く側は、いっしょうけんめい情報を集めたので、全部パンフレットに書きたい気持ちになります。でも、読む人のことを考えるとどうでしょうか。



情報を集めて整理しました。表には、たくさんの情報が書かれています。しかし、私たちが伝えたいことは、宮澤賢治のふしぎさです。

伝えたいことによって、選ぶ情報が変わってきます。宮澤賢治のふしぎさを伝えたいときは、何を選んだらいいか、話し合ってみましょう。

- ☆ 小さいころひとりで石を集めることが好きだった。ふつうの子とちがうかんじがするよ。
- ☆ 石を集めてどんなこと思っていたのかな。
- ☆ セロ弾きのゴーシュもふしぎなお話だよ。

私たちは、伝えたいことに合わせて、必要な情報を表から選びました。

■ 構成メモの例

- 1 石集めが大好きだった子どものころ・・・ゆみえさんが書く
 - ・ ひとり遊びが好き→宮澤賢治の写真（中学生と大人）
 - ・ 「石こ賢さん」とよばれた
- 2 夢はみんなの心が通う世界・・・まさとさんが書く
 - ・ 自然災害のため作物が取れず
 - ・ 農民たちが苦しんだ。
 - ・ 苦しい農作業の中に楽しさを
見つけたいと思っていた。→教えていた教室の写真
- 3 ここがふしぎ宮澤賢治の本・・・たけしさんが書く
 - ・ セロ弾きのゴーシュ→ふしぎな場面の絵
 - ・ 注文の多い料理店→ふしぎな場面の絵

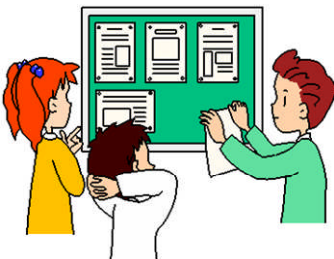


構成メモをもとに
記事を書いたね

■ 構成メモを作るときに

- 読む人の立場に立って、一番初めに何を知らりたいのかを考えましょう。
- 記事のはじめは、見出しやイラストに近いことを書きましょう。そうすると、初めて読む人がイメージをもったり、読み続けたりしやすくなります。

- 互いにパンフレットを見合しましょう。友だちは、どんな工夫をしているのでしょうか。



4 構成メモをもとにまとめる

必要な情報を選んだら、伝える順序を考え構成メモを作ってからまとめましょう。

構成メモを作る

はじめに、伝える内容を書き、次に、伝える順序を考え番号をふります。写真や絵のメモを書いておいたり、だれがどこを書くのかを決めたりしておきましょう。

まとめかたを工夫する

パンフレットを仕上げるときは、相手のことを考えて、どこに何を書いたら見やすいか、絵やイラストの場所はどこがいいかなどを話し合っておきます。文章はノートに下書きをしてから清書します。

パンフレットを仕上げ掲示する

伝えたい相手が、よく見る場所に掲示しましょう。